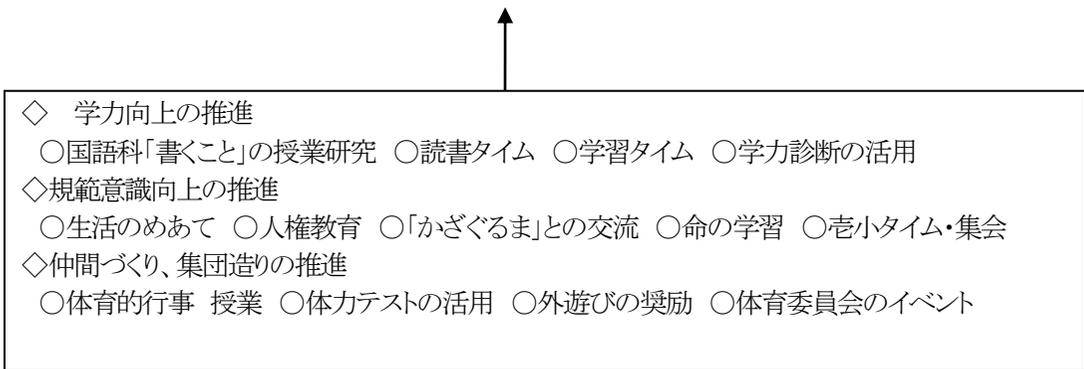
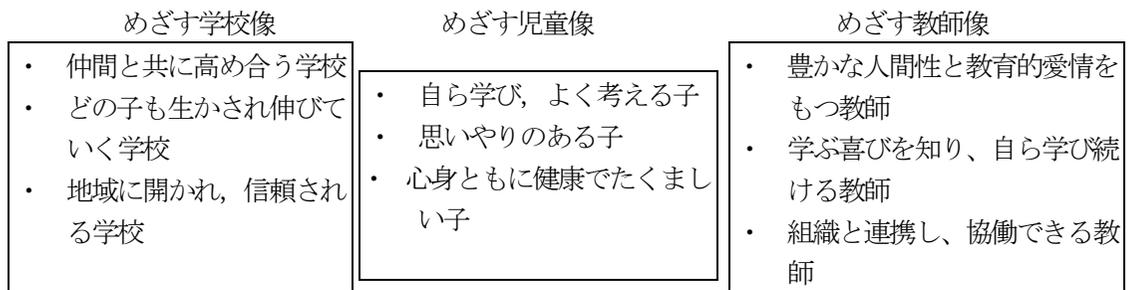


【1】 学校教育目標

本校の教育目標
自ら学び、心豊かにたくましく生きる子
～やさしさいっぱい 夢がいっぱい 笑顔いっぱい 楽しい壱小！～



【2】 研究主題

◆ 主体的に学び、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成
—— 書くことを通して ——

主題設定について

本校は昨年度よりこの研究主題に基づき、児童の書く力を高めるための研究・実践を行ってきた。それぞれの学年で教材や指導を工夫した結果、児童は少しずつ書くことへの抵抗感がなくなり、順序に気をつけたり、段落を意識したりしながら、自分の考えが伝わるような文章を書くための技能を一つひとつ習得していった。また授業の中で、書いた文章を読み合ったり、友達の文章を読んだ感想を交流し合ったりアドバイスをしたりする活動を取り入れることで、お互いに高め合おうとする姿も見られた。

しかし、学校が実施した保護者アンケートによると、子どもは書くことを苦手としていると感じている保護者がかなりの割合を占めていた。教師の意識と児童や保護者の意識にズレがあった。

そこで、今年度も引き続きこの主題で研究を進め、書く意欲を高めて主体的に取り組むことができるよう指導を工夫・改善し、昨年度身につけられた力をさらに伸ばせるようにしたい。

国語科では、「情報を多面的・多角的に精査し構造化する力」「感情や想像を言葉にする力」「言葉を通じて伝え合う力」が特に重視されている。書くことを通してこれらの力を育てることが、創造的・論理的思考を高めたり、自分の感情をコントロールしたり、他者と協働したりすることにつながる。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、児童同士がお互いに思いや考えを広げたり深め合ったり高め合ったりするような言語活動や、言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める学習活動を設け、書くことを通して自分の思いや考えを伝え合える児童を育てていきたい。

【3】目指す子ども像

- 書くことが好きな子
- 自分の考えが相手に伝わるように書き表せる子

〈手立て〉

- 書く意欲が高められるような場の設定
- 課題設定・取材・構成・記述のそれぞれの過程における技能習得の手立ての工夫

【4】研究方法

